

第2期鎌倉食育推進計画 指標及び評価								第3期鎌倉食育推進計画 指標				
取り組みの柱	第2期鎌倉食育推進計画 指標	計画策定時の質問項目	計画策定時 (H23)	目標値	直近値の質問項目	直近値※1	改善状況※2 (目標値と直近値を比較)	第3期鎌倉食育推進計画 指標	目標値	質問項目	現状値	出典
食をととした健康づくり	朝食を毎日摂取する市民の割合の増加	問い:朝食を食べていますか 回答:ほぼ毎日たべている	幼児: 99.2% 小学生: 96.1% 中学生: 92.3% 16～19歳: データなし 青年期: 75.0% 壮年期: 80.2% 高年期: 94.0%	中学生以下: 100%に近づける 20・30歳代: 90%に近づける 40歳以上: 100%に近づける	問い:朝食を食べていますか 回答:ほぼ毎日食べる	幼児: 99.3% (↑) 小学生: 97.8% (↑) 中学生: 91.6% (↑) 16～19歳: 82.1% 青年期: 81.5% (↑) 壮年期: 91.9% (↑) 高年期: 95.9% (↑)	A	朝食を毎日食べる人の割合	青年期以外 100%に近づける 青年期 90%に近づける	問い:朝食を食べていますか 回答:ほぼ毎日食べる	青年期: 69.3% 壮年期: 81.0% 高年期: 91.7%	健康づくりについての意識調査
	栄養バランス等に配慮した食生活を送っている市民の割合の増加	問い:外食でメニューや弁当を選ぶ際に、栄養成分表示(カロリー・塩分など)を参考にしますか 回答:いつも参考にする、たいてい参考にする、時々参考にする	【参考】 幼児: 70.4% 小学生: データなし 中学生: データなし 16～19歳: データなし 青年期: 65.0% 壮年期: 65.4% 高年期: 60.3%	80%に近づける	問い:主食・主菜・副菜をそろえるなど、栄養バランスを考えて食事をとっていますか 回答:はい	幼児: 48.0% 小学生: 51.0% 中学生: 51.6% 16～19歳: 28.4% 青年期: 40.7% 壮年期: 45.2% 高年期: 65.3%	C	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が一日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合	80%	問い:主食・主菜・副菜をそろえるなど、栄養バランスを考えて食事をとっていますか 回答:はい	青年期: 53.0% 壮年期: 58.5% 高年期: 74.8%	健康づくりについての意識調査
	内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している市民の割合の増加	なし	なし	50%以上	問い:内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続して行っていますか 回答:はい	青年期: 21.5% 壮年期: 20.4% 高年期: 36.1%	C	生活習慣病及び低栄養の予防や改善のために、適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する人の割合	75%	問い:生活習慣病予防や改善のために、普段から適正体重の維持や減塩等に気をつけた食事をしていますか 回答:いつも気をつけて実践している、気をつけて実践している	青年期: 53.6% 壮年期: 55.9% 高年期: 74.1%	
	よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心のある市民の割合の増加	なし	なし	80%以上	問い:よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心がありますか 回答:関心がある	幼児: 39.8% 小学生: 52.2% 中学生: 32.6% 16～19歳: 25.4% 青年期: 40.2% 壮年期: 39.3% 高年期: 56.5%	C	ゆっくりよく噛んで食べる人の割合	55%	問い:よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心がありますか 回答:関心がある	幼児: 39.8% 小学生: 52.2% 中学生: 32.6% 16～19歳: 25.6% 青年期: 40.2% 壮年期: 39.3% 高年期: 56.5%	
食をととした人づくり	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加	問い:普段のタゴ飯は誰と一緒にたべていますか 回答:家族みんなで食べる、家族のたれかと食べる、一人で食べる	【参考】 夕食を家族の誰かと一緒に食べるこどもの割合 小学3年生 97.7% 小学6年生 97.8% 中学2年生 94.2% 中学3年生 94.7%	週平均 10回以上	問い1:朝食はおうちのひとと一緒に食べていますか 問い2:夕食はおうちのひとと一緒に食べていますか 回答:ほとんど毎日食べる(7回)、週に4～5回食べる(4.5回)、週に2～3回食べる(2.5回)、週に1回程度食べる(1回)	幼児: 13.3回 小学生: 12.5回 中学生: 11.2回 16～19歳: 9.9回	B	家族そろって一日に1回以上食事をする子どもの割合	90%に近づける	問い1:朝食はおうちのひとと一緒に食べていますか 問い2:夕食はおうちのひとと一緒に食べていますか 回答:ほとんど毎日食べる(7回)、週に4～5回食べる(4.5回)、週に2～3回食べる(2.5回)、週に1回程度食べる(1回)	3歳児: 79.9% 小6: 80.0%	健康づくりについての意識調査
	農水産業体験を経験した市民の割合の増加	なし	【参考】 公立保育園100% (H22) 公立小学校100% (H21) 公立中学校67% (H21) 16～19歳: データなし 青壮高年期: データなし	30%以上	問い:農業や漁業の体験をしたことがありますか 回答:ある	幼児: 68.5% 中学生: 77.2% 16～19歳: 79.1% 青年期: 71.4% 壮年期: 69.1% 高年期: 47.6%	A	農水産業体験を経験した人の割合	高年期以外 80%以上 高年期 50%以上	問い:農業や漁業の体験をしたことがありますか 回答:ある	幼児: 68.5% 中学生: 77.2% 16～19歳: 79.1% 青年期: 71.4% 壮年期: 69.1% 高年期: 47.6%	
								和食や行事に合わせた食事や食事のマナー(箸使い、食べ方)などを知っている人の割合	70%	問い:あなたは郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸使いなどの食べ方・作法を受け継いでいますか 回答:受け継いでいる、どちらかといえば受け継いでいる	青年期: 61.2%	
								和食や行事に合わせた食事や食事のマナー(箸使い、食べ方)などを知っていることを、子どもや地域に伝えている人の割合	青年期以上 60%	問い:あなたは郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸使いなどの食べ方・作法を地域や次世代(子どもやお孫さんを含む)に伝ええていますか 回答:伝えている、どちらかといえば伝えている	16～19歳: 23.9% 青年期: 44.2% 壮年期: 53.8% 高年期: 53.1%	
食をととした地域づくり	地元産(県内産を含む)食材の使用割合の増加	問い:「鎌倉やさい」など、地元産(県内産含む)の食材を購入していますか 回答:よく買う	16～19歳: データなし 青年期: 17.5% 壮年期: 19.8% 高年期: 32.8%	30%以上	問い:地元産(県内産を含む)食材を購入していますか 回答:積極的に購入している	16～19歳: 1.5% 青年期: 13.6% (↓) 壮年期: 12.8% (↓) 高年期: 17.7% (↓)	C	地元産や県内産食材(加工品等を含む)を意識して購入する人の割合	60%以上	問い:地元産(県内産を含む)食材を購入していますか 回答:積極的に購入している	現状値なし	
	食育の推進に関わるボランティアの数の増加	なし	612人	700人以上	なし	573人 (↓)	C	食育の推進に関わるボランティアの数	600人	なし	573人	
食をととした環境づくり	消費期限や賞味期限などの食品表示や、食中毒の予防などの食品の安全性について関心をもっている市民の割合の増加	問い:消費期限や賞味期限、食品添加物、遺伝子組み換えなどの食品表示や、食中毒の予防、農業の利用などの食品の安全性について関心を持っていますか 回答:持っている	中学生: データなし 16～19歳: データなし 青年期: 57.5% 壮年期: 63.0% 高年期: 80.2%	90%以上	問い:消費期限や賞味期限などの食品表示や食中毒の予防などの食品の安全性について関心がありますか 回答:関心がある	中学生: 56.7% 16～19歳: 44.8% 青年期: 43.7% (↓) 壮年期: 47.8% (↓) 高年期: 59.2% (↓)	C	食の安全性(食中毒・食品表示・健康食品など)について基礎的な知識を持ち、自ら判断することができる人の割合	80%以上	問い:食品の安全性について基礎的な知識(食中毒・食品表示・健康食品など)を持ち、自ら判断していますか 回答:いつも判断している、判断している	中学生: 74.4% 16～19歳: 56.7% 青年期: 72.6% 壮年期: 79.6% 高年期: 78.9%	
	日常生活の中で、ごみの発生抑制に取り組む市民の割合の増加	問い:あなたは日常生活の中で、ごみの発生抑制(生ごみは極力出さない、買い物袋を持参するなど)に取り組んでいますか 回答:いつも取り組んでいる、ときどき取り組んでいる	全年代合計: 82.6%	85%以上	問い:日常生活の中でごみ発生抑制(生ごみは極力出さない、買い物袋を持参するなど)に取り組んでいますか 回答:いつも取り組んでいる、ときどき取り組んでいる	16～19歳: 70.1% 青年期: 74.6% 壮年期: 82.8% 高年期: 90.5%	B	食品ロス(食べ残し、買いすぎ等)軽減のために何らかに取り組んでいる人の割合	90%以上	問い:食品ロスを軽減するに取り組んでいることはありますか 回答:ある、ときどきある	16～19歳: 79.1% 青年期: 87.4% 壮年期: 93.5% 高年期: 88.4%	

※1 計画策定時と直近値との数値の比較ができるものはカッコ内に矢印で表現しています。  
※2 目標値を達成したものは「A」、目標値を一部達成したものは「B」、目標値を達成できなかったものは「C」としています。